



認知症への取り組みとチームオレンジおびひろ

2025年には65歳以上の約5人に1人が認知症になるとされており、国は「認知症になっても住み慣れた地域で幸せを実感しながら暮らせる共生社会の実現」を掲げています。

地域包括支援センター帯広至心寮では、「認知症の方の相談・対応」「小中学生や一般の方への認知症サポーター養成講座の開催」「認知症高齢者等SOS声かけ訓練」「認知症に関する出前講座」など、認知症に対する理解を深めていただくよう努めております。

また、認知症の方や家族の生活を地域で支援などを行う取り組み・組織である『チームオレンジ』を推進しており、認知症サポーター養成講座を修了したサポーターがチームを組み、認知症の方もメンバーとして参加しています。

なお、帯広市では『チームオレンジおびひろ』として、現在58名の活動者・行政・各地域包括支援センターの認知症地域支援推進員で準備を進めています。

具体的には、[普及啓発グループ][認知症カフェグループ][個別支援グループ]に分かれ、令和7年度の活動開始を目指しています。認知症の方やその家族が、よりよく生活できるように今後も継続して取り組みます。

(認知症地域支援推進員 鳥瀬)



認知症と脱水



体内の水分が不足することで運動機能や体温調節機能の低下、ひどい時には妄想や幻覚などが起こります。水分不足が原因で脳の障害を引き起こせば、間接的に認知症の進行を早めてしまう恐れもあります。体格や活動量により違いがありますが、一日に必要な水分補給の目安は**1.5リットル**です。認知症の方が脱水症状に陥らないために水分を摂るように伝えたとしても、拒否される場合があります。そこで**無理矢理飲ませようとするのは逆効果**です。「一緒にお茶を飲みながらお話ししましょう」「このお菓子がお茶に合いますよ」などと伝えるのも1つの方法です。(認知症専門担当職員 中西)

『帯広市の現状』

人口：161,547人
(男性：77,086人／女性：84,461人)
世帯数：90,328戸
高齢人口(65歳以上)：約49,000人
高齢化率：30% 【令和6年7月時点】

7月から職員が増えました

渋谷 生弥：介護支援専門員

7月より働かせていただいております。2年前に岩見沢より引っ越してきました。まだ帯広の事が分かっていないので色々教えてください。宜しくお願い致します。



『地域のボランティアさんとの協働』報告



地域包括支援センター
×
地域支え合い推進員

※こちらの写真は過去の活動のものです

地域包括支援センター帯広至心寮が行っている地域ケア会議で、室内が物で溢れ1人では片付けられず困っている方のお話があり、地域ボランティアの『ちょっとした支え合いサポーター』さんとお部屋の片付けをお手伝いしています。使う物、使わない物の分別や衣類の整理など、1人では大変な作業もちょっとした支え合いサポーターさんと一緒に行うことでスムーズに片付け、整ったお部屋を見て大変喜ばれていました。また、ちょっとした支え合いサポーターさんが1人暮らしの住人の方を気遣い、言葉をかけることで、片付けが終わる頃には笑顔も見られていました。喜ばれている姿を見て、人や地域とのつながりの大切さを改めて感じています。これからも人や地域とのつながりを大切にしながらちょっとした支え合いを行っていきたいと思います。
(地域支え合い推進員 菊地)

『出前講座』で

市民の皆様へ情報提供しています！



【対象者】

東・鉄南地域の団体、サークル、ご近所仲間等
※コミセンや個人宅、どこでも伺います！

【申込方法とその流れ】

- ① 電話でお申し込み下さい
(☎24-1150または☎66-4613)
- ② 地域包括支援センターの担当者から改めて代表者の方に連絡し、日程などを調整します
- ③ 講師料は無料です

【テーマ】

- ・健康づくりと介護予防
- ・認知症に関すること ・在宅医療
- ・介護保険 ・成年後見制度
- ・高齢者虐待 ・地域の見守り

(保健師 大谷)

令和6年帯広市家族介護者リフレッシュ事業

栄養士・薬剤師による健康講話と座談会

～ 腸活でリフレッシュ ～

腸内環境をととのえて、すこやかな毎日を。

参加型のたのしい講座です！

栄養士さん薬剤師さんに腸活のコツを聞いてみませんか？

試供品とお弁当のお土産付きです。

とき 令和6年9月3日火曜日 10時30分～12時終了

ところ とかちプラザ402号室 帯広市西4条南13丁目1



講師紹介

まつもと薬局 栄養部 ☎ まつもと薬局ボランティア
認定栄養ケアステーション 管理薬剤師 浅野 遼郎さん
管理栄養士 柴田 雅江さん

申込み 地域包括支援センター帯広至心寮

電話 24-1150 / 66-4613 ☎

8月20日締め切り 定員15名 無料

『家族介護者リフレッシュ事業』とは？

要支援・要介護認定を受けた市内在住の65歳以上の高齢者を在宅で介護しているご家族に「心身の元気回復(リフレッシュ)」をしていただくための事業です。

帯広至心寮では、今年度第1回目にまつもと薬局さんにご協力いただき、『健康講話と座談会』を行います。栄養士さんや薬剤師さんに腸活のコツを聞いたり、色々な方とお喋りしたり、リフレッシュできる内容となっております(左ちらしを参照)。第2回目も計画しております。

帯広市の地域包括支援センターは

『ケアラーの支援・相談の窓口』のひとつです

ケアラーとは、心や体に不調がある方の「介護」「看病」「療育」「世話」「気遣い」など、ケアの必要な家族や近親者、友人・知人などを無償でケアする人のことです。

過度な介護負担を感じている方や、周りに介護で困っている人がいましたら気軽にご相談ください。

